

# 高知憲法速報

No.292 2012.7.28 発行;高知憲法会議事務局

TEL 088-872-3406 編集人 事務局長・徳弘嘉孝

## 自民党が衆院「0増5減」案提出

### 小選挙区制固定化、比例定数削減へ連動

自民党は7月27日の総務会で、衆院小選挙区を「0増5減」する法案を党議決定、同日午後衆院に単独で法案を提出しました。法案は「1票の格差」を是正するため、山梨、福井、徳島、高知、佐賀の5県の小選挙区を現在の3から2に削減する内容です。民主党が先に単独で提出している法案は、比例定数40削減と比例代表運用性の部分導入などが併せて含まれていますが、自民党案は0増5減のみに絞っています。この法案は小選挙区の区割りを手直しするだけで、小選挙区制度を固定化し比例削減にもつながるもので、これまで積み重ねてきた国会での「現行制度の抜本的見直し」の議論を無視することになります。「3党談合」による消費税増税法案などを早く成立させ、その後の解散総選挙の環境整備を進めようとするものです。憲法会議など11団体は緊急院内集会(衆院第1議員会館)と議員要請行動を8月1日に行うことを決めました。

### 7・22 オスプレイ配備反対緊急岩国集会

新型高速強襲輸送機MV-22オスプレイは、多くの国民の反対を押し切って、7月23日米軍岩国基地に12機が陸揚げされました。これまで少なくとも9回も大事故を起こし、36人の命を奪って、「未亡人製造機」と呼ばれています。垂直離陸して空中で水平飛行という2兎を追う構造のため、垂直飛行でも水平飛行でも安定感がなく、すさまじい騒音と墜落の危険を伴っています。機関砲もミサイルも搭載していないが、数百キロ遠方に、24人の兵員と155ミリ榴弾砲を運ぶことができ、敵地に陣地を確保するための強襲輸送機なのです。オスプレイ1個飛行隊(12機)の4飛行、3時間で海兵1個大隊(975人)を140キロ離れたところに展開できる、海兵遠征軍の殴り込みのための飛行機です。7月22日岩国市役所前の公園で緊急集会が開かれ、中国四国九州を中心に1100人が集まり、抗議集会とパレードを行いました。高知から11人が参加しました。

日本政府は「安保条約に基づくアメリカ側の権利」として配備を容認していますが、これまで艦載機移転

を認めてきた山口県知事や岩国市長も配備手続きの中止を求め、低空飛行訓練には高知県尾崎知事を含めた多くの自治体首長が抗議の声を寄せています。

### 許せない米軍機の低空飛行訓練

これまでも高知県嶺北地方を米軍戦闘機が高速で低空飛行訓練して(オレンジルート)、住民に不安と迷惑をあたえてきましたが、今回提出された米軍の環境調査報告書には次の6本の低空飛行訓練ルートが記されています。( )内は現在の年間低空飛行回数  
グリーン;青森から福島へ(132回) ピンク;青森から山形へ(100回) ブルー;新潟から岐阜へ(238回) オレンジ;和歌山から高知・愛媛へ(467回) イエロー;九州中部を周回(255回) パープル;奄美諸島から沖縄・トカラ列島へ(343回) オスプレイが配備されると6本のルートで年間330回の訓練を実施する計画で、全体で21%の増加、しかもこのうち約3割は夜間の訓練とされています。また、今回の報告書にはないブラウンルート(岡山から広島へ)や島根県上空のエリア567も使用する見込みです。報告書添付資料では飛行訓練の高度を、夜間(午後10時から翌午前7時)は地上500フィート(約150メートル)、それ以外の時間帯は地上200フィート(約60メートル)での飛行を想定、これは日本の航空法(人口密集地では300メートル以上、非密集地では150メートル以上)違反です。

1994年10月14日、低空飛行訓練中の米空母艦載機A6Eイントルーダーが早明浦ダム湖に墜落し、米兵2人が死亡しました。1999年1月、オレンジルートで爆撃訓練をするために空中給油をしていた米軍戦闘機FA18ホーネット同士が接触し、土佐湾に墜落しました。1988年6月25日、米軍大型ヘリ・CH53Dシースタリオンが伊方原発から800メートルの至近距離に墜落し、乗員7人全員が死亡しました。岩国から沖縄に向かっていたので、強い衝撃でバウンドして山頂を超え南側斜面を200メートルほどずり落ちて大破しました。原発敷地に落ちていたら大惨事になるところでした。伊方周辺やオレンジルート、リマ海域へ向かう米軍機や自衛隊機の事故・不時着の記録は多数あります。原子力発電の問題と軍事的な問題が交差しています。昨年11月29日、嶺北中央病院でヘリを使った防災訓練中にFA18戦闘機3機が横切りました。ドクターヘリや防災ヘリのパイロットは「自分たちが見えているのか」と心配しています。低空飛行訓練は許せません。